

## 4-2. 世界のシティプラットフォーマー

2019年6月29日 (13:35-14:25) / イベントホール (3F/A会場)



デイブ・ウェスト シスコシステムズ合同会社  
代表執行役員社長

今日の世界では、全てがデジタル化され接続されている。シスコでは、日本のインターネットの利用は、2022年までに300万のユーザーが増え、接続されるデバイスは6億個増えるであろうと推測している。そして、それらすべてが管理されなければならない。私たちはこれまで10年かけて、ソフトウェアのプラットフォームを開発してきた。これを基にいろいろな接続やデバイスを管理できるようになっており、シティマネジメントプラットフォームとして構築した。その中には、4つのプラットフォームがある。データを集めるモニタリング、分析、報告、そしてサービスの統合である。スマートシティの主導権は、もちろん市民のためにある。今後、5Gになるとサイバーセキュリティがますます大きな課題になってくる。サービスを安全に提供することを第一に考えなくてはならない。

キーワードの一つはIoT。これは、モノの情報、またはモノのインターネットと呼ばれているが、その実体はセンサーや、カメラ、コンピューターである。モノの間でのコミュニケーションも、人とのコミュニケーションも可能である。今でも、何かを決定するときには人の判断というのは欠かせない。C4ISRにサイバーのCが入ってC5ISRになっている。サイバーというのはセキュリティのこと。IoTに侵入して、例えば、その都市をコントロールできるような状況というのは、当然ながら起こしてはならない。また、センサーは大変重要だが、センサーの犠牲者には誰もなりたくない。考え方を改めて、そして優先順位を決めて、予測できなかったことを予測できるようにする、これが大変重要だと考えている。



トーマー・オーバック C4システムズCEO